



7割以上が「腰痛の症状がある」 原因は「長時間同じ姿勢でいる」70.4%

首都圏の女性989人に腰痛の症状があるかを聞いたところ、「慢性的に痛む」26.2%、「たまに痛む」46.0%となり、7割以上が腰痛の症状があると回答した(グラフ)。

「慢性的に痛む」「たまに痛む」と回答した人は、24歳以下57.4%、25～29歳74.7%、30～34歳71.6%、35歳以上73.8%となり、24歳以下は他の年代に比べて腰痛の症状を感じている割合が低かった。

また、腰痛の症状がある人に、腰痛の原因は何だかと思うかを聞いたところ、「長時間同じ姿勢でいる(デスクワークなど)」が70.4%で最も高く、次いで「姿勢の悪さ」54.2%、「生理の前後」40.7%、「疲れの蓄積」39.2%と続く(グラフ)。

年代別にみると、年代が上がるほど「運動不足」「筋力の衰え」を原因に挙げる人が多く、また、「ストレスがたまっている」と回答した人も、20代より30代の方が多かった。

腰痛対策は「お風呂で温まる」

腰痛の症状がある人に、腰痛対策としてやっていることを聞いたところ、「お風呂で温まる」が55.7%で最も高く、次いで「ストレッチ」45.7%、「お店などでマッサージ」42.7%、「自分でマッサージ」35.3%と続く(グラフ)。腰痛対策に「運動」を挙げた人は、年代が上がるほど多かった。

腰痛改善のために湿布や鎮痛剤を利用する人に、購入したことがある商品を見たところ、「サロンシップ」42.4%と圧倒的だった。次いで「パテックス」18.3%、「ビップエレキパン」「ハリックス」「パファリン(内服)」「イブ(内服)」ともに15.6%と続く(グラフ)。

<回答者プロフィール>

年齢:24歳以下5.5%、25～29歳27.5%、30～34歳42.2%、35歳以上24.9%。平均年齢31.3歳。
居住地:東京都59.3%、神奈川県15.6%、千葉県13.1%、埼玉県11.2%、茨城県0.8%。
未婚:未婚74.5%、既婚25.5%。
暮らし:親と同居(未婚)46.5%、一人暮らし23.2%、夫婦二人暮らし17.9%、夫婦と子供5.6%、その他6.8%。

<調査実施>シティリビング

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

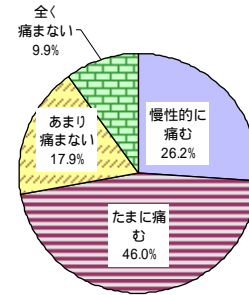
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

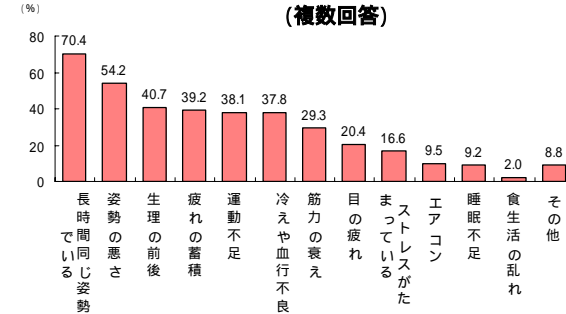
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

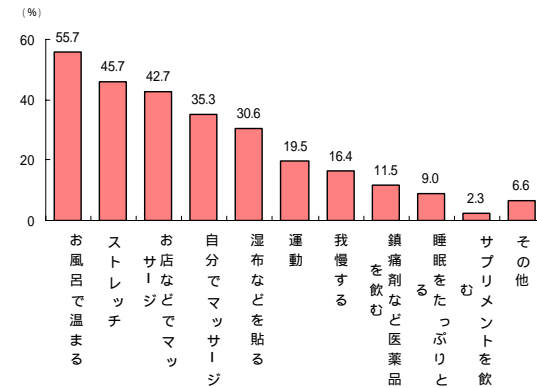
(グラフ) 腰痛の症状があるか
(N=982)



(グラフ) 腰痛の症状がある人のみ
腰痛の原因は何だかと思うか
(N=708)
(複数回答)



(グラフ) 腰痛の症状がある人のみ
腰痛対策としてやっていること
(N=702)
(複数回答)



(グラフ) 腰痛改善のために湿布や鎮痛剤を利用する人のみ
購入したことがある商品(10位まで)
(N=257)
(複数回答)

